

第 4 次ちば中小企業元気戦略

令和 3 年度補助指標の達成状況 及び令和 4 年度事業計画書

千 葉 県

1 小規模企業に配慮した施策の推進

(1) 起業・創業への支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H30	R元	R2	R3	R4
A	チャレンジ企業支援センターにおける起業・創業相談件数	目標値	306件	357件	369件	369件	335件
		実績値	430件	282件	295件	227件	
B	起業家応援イベント参加者数	目標値	2,500人	2,500人	2,500人	2,900人	2,500人
		実績値	2,200人	2,500人	516人	608人	
C	創業支援事業計画の認定市町村数	目標値	43市町村	47市町村	47市町村	47市町村	54市町村
		実績値	41市町村	43市町村	44市町村	44市町村	
<p>(課題と今後の対応) 【R3→R4】</p> <p>A)引き続きチャレンジ企業支援センターと連携を図るとともに、広報の強化により、起業・創業希望者へ支援制度の認知度向上を図っていく必要がある。起業家に対してチャレンジ企業支援センターの「窓口相談」等の創業支援制度に関する積極的な活用を促し、地域における起業・創業を支援する</p> <p>B)ホームページ等にて起業家交流会等の起業家イベントの周知を図る。また、新型コロナウイルス感染症の状況にもよるが、オフラインにて対面での交流ができるように検討する。</p> <p>C)直接市町村へ働きかけるなどし、全市町村における創業支援事業計画の策定を目指す。</p>							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<チャレンジ企業支援センター事業> 中小企業支援法に基づき、(公財)千葉県産業振興センターが実施する、県内中小企業者が抱える様々な経営課題(経営・金融・技術・IT相談等)の解決を「ワンストップ」で支援するための、各種相談事業や専門家派遣事業及び各種セミナーの開催事業等に対し補助する。また、新たな支援として、中小企業が中長期的な視点に立って業態転換等に取り組む場合に専門家による伴走型の支援を行う。	336,064千円	416,679千円
		324,000千円	
2	<ちば起業家応援事業> 「起業・創業」及び起業の一手法としての「事業承継」の機運醸成・啓発から、優秀な起業家及び事業後継者の発掘、起業及び事業承継を実現するためのビジネスプランのブラッシュアップまで、一貫した支援を継続的に行うことにより、県内での起業及び円滑な事業承継を促進する。また、新たにSDGsを切口として中小企業の「持続可能性」と「収益性」をキーワードにセミナーを開催する。	16,000千円	16,000千円
		16,000千円	

1 小規模企業に配慮した施策の推進

(2) 事業の持続的発展への支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H30	R元	R2	R3	R4
A	県制度融資（小規模事業資金・小口零細企業保証枠）の融資限度額	目標値	2,000万円	2,000万円	2,000万円	2,000万円	2,000万円
		実績値	2,000万円	2,000万円	2,000万円	2,000万円	
B	千葉のちから「中小企業表彰」における小規模企業表彰数	目標値	3社	3社	3社	3社	3社
		実績値	4社	2社	4社	4社	
<p>（課題と今後の対応）【R3→R4】</p> <p>A)多くの中小企業者に利用していただくため、より利用しやすい制度の見直しと周知を図っていく。</p> <p>B)小規模企業者数が減少している状況で、小規模企業者の持続的な発展に寄与するため、R3年度に引き続き支援していきたい。</p>							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<p><中小企業振興資金（小規模事業資金の融資枠の拡大）></p> <p>県内の小規模事業者に対し通常の融資より低利で借りられる融資を行う。</p> <p>なお、中小企業信用保険法等の改正に伴い、平成30年度より小規模事業資金（小口零細企業保証枠）の融資限度額を2,000万円に引き上げた。</p>	440,000,000千円	400,000,000千円
		233,000,000千円	
2	<p><千葉のちから「中小企業・小規模企業表彰」></p> <p>積極的な事業展開による地域経済への貢献や地域活動への取組などを行う中小企業や地道に努力を重ねてきた従業員等に対し、千葉のちから「中小企業・小規模企業表彰」（中小企業・商店街・従業員）を行う。</p>	119千円	119千円
		103千円	

1 小規模企業に配慮した施策の推進

(3) 伴走型支援体制の強化

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H30	R元	R2	R3	R4
A	商工会・商工会議所における相談件数	目標値	115,200件	110,000件	110,000件	110,000件	未設定
		実績値	110,646件	115,572件	123,380件	未判明	
B	よろず支援拠点における相談件数【再掲】	目標値	6,000件	6,000件	6,800件	6,800件	8,098件
		実績値	6,786件	7,282件	11,806件	9,265件	
<p>(課題と今後の対応) 【R3→R4】</p> <p>A)小規模事業者支援法の改正により、商工会・商工会議所と市町村及び都道府県との連携強化など、小規模事業者に寄り添った伴走型支援が求められている。</p> <p>B)引き続きチャレンジ企業支援センターと連携して相談に対応していく。</p>							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<p><小規模事業経営支援事業費等補助金></p> <p>商工会、商工会議所において、「経営発達支援計画」を策定し、従来の税務、経理などの相談に加え、技術の向上、新たな事業開拓等に係る事業計画の策定・実施を企業に寄り添って支援する伴走型支援を行う。</p> <p>なお、令和4年度は、「経営発達支援計画」等の策定支援として、策定に係る費用を提案型事業で補助していく。</p>	2,279,578千円	2,267,636千円
		未確定	
2	<p><よろず支援拠点による総合支援>【再掲】</p> <p>中小企業者・小規模事業者の複雑・多様化する経営課題に対して、総合的・先進的のアドバイスを行い、売上拡大や経営改善を支援する。</p>	予算なし	予算なし
		—	

1 小規模企業に配慮した施策の推進

(4) 円滑な事業承継の促進

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H30	R元	R2	R3	R4
A	事業承継ネットワーク構築事業におけるアンケート件数	目標値	1,700件	1,700件	5,534件	5,534件	7,047件
		実績値	3,543件	5,805件	6,786件	6,575件	
B	千葉県事業引継ぎ支援センターによる相談件数	目標値	200件	236件	294件	294件	331件
		実績値	307件	319件	343件	594件	
<p>(課題と今後の対応) 【R3→R4】</p> <p>A)金融機関の協力により、目標を達成した。引き続き商工団体、金融機関、千葉県信用保証協会などと連携の上実施していく。</p> <p>B)相談件数は増加傾向にあり、目標を達成した。引き続き相談窓口の周知広報に努めていく。</p>							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<p><「事業承継支援ネットワークちば」における支援体制の充実、事業承継支援助成金></p> <p><ちば中小企業次世代承継推進事業></p> <p>「事業承継支援ネットワークちば」において関係機関と連携して、事業承継アンケート及び課題等の整理シート等により掘り起こした事業承継支援ニーズを掘り起こし、支援体制の充実を図るとともに、事業承継に取り組む中小企業の計画策定や、M & A 仲介料、後継者育成等の費用の一部を予算額を増額して助成する。</p>	5,000千円 15,000千円	6,000千円 15,000千円
		3,114千円 12,931千円	
2	<p><「事業承継・引継ぎ支援センター」の活用></p> <p>千葉商工会議所内に、専門家を配置し、相談・助言から、第三者への事業承継まで、総合的な支援を千葉県単独で行う「支援センター」を設置し、金融機関や中小企業支援機関等との連携により、事業の周知を図るとともに案件の掘り起こしを行う。</p>	予算なし	予算なし
		—	

2 創業等への意欲的な取組の促進

(1) 起業・創業への支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H30	R元	R2	R3	R4
A	県制度融資（創業資金）の融資額	目標値	44億円	53億円	57億円	57億円	79億円
		実績値	48億円	57億円	55億円	72億円	
B	「千葉ふるさと投資」による支援件数	目標値	11件	11件	11件	11件	7件
		実績値	12件	11件	7件	3件	
<p>(課題と今後の対応) 【R3→R4】</p> <p>A)多くの中小企業者に利用していただくため、より利用しやすい制度の見直しと周知を図っていく。</p> <p>B)制度の内容についての理解不足から申請に至らないことがあったため、多くの中小企業者に補助制度を活用していただくため、制度の具体的な内容等について更なる周知等を図っていく。</p>							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<中小企業振興資金（創業資金の融資）>【再掲】 県内の創業へのチャレンジを一層促進するため、創業資金の利用に伴う信用保証料の一部を補助する。（R4 予算額2,000万円）	440,000,000千円	400,000,000千円
		233,000,000千円	
2	<千葉ふるさと投資活用支援事業の実施> クラウドファンディングを活用した資金調達により、地域資源を活用した独創的な技術やアイデアによる新事業を行う中小企業に対して、助成等を行う。	3,182千円	3,234千円
		658千円	

2 創業等への意欲的な取組の促進

(2) 企業誘致の推進

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H30	R元	R2	R3	R4
A	戦略的企業誘致による企業訪問件数 ※過去8年間の年平均実績値	目標値	1,100件	1,100件	1,100件	1,100件	600件
		実績値	1,132件	1,251件	632件	627件	
B	企業と空き公共施設等を有する市町村とのマッチング 件数	目標値	100件	100件	100件	100件	100件
		実績値	154件	171件	111件	138件	
<p>(課題と今後の対応) 【R3→R4】</p> <p>A)新型コロナウイルス感染症拡大の影響で企業への訪問が困難な状況となったため、目標件数に届かなかった。今後は、外資の新規案件や立地済み国内企業のフォローなど、昨年度より訪問件数が伸びているものを軸に増加に取り組んでいく。</p> <p>B)引き続き、アンケート等により進出可能性のある企業を掘り起こすとともに、セミナーの実施を通じて進出を希望する企業と市町村とのマッチングを推進する。</p>							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<戦略的企業誘致推進事業（誘致トップセミナーの開催）> 千葉県の立地環境の優位性を生かした戦略的な企業誘致を実施するため、知事トップセールスなどを開催するとともに、企業進出進出支援体制の充実を図る。 ・東京、大阪開催を予定	20,000千円	23,824千円
		15,835千円	
2	<空き公共施設等を活用した企業進出支援事業> アンケート等により進出可能性のある企業を掘り起こすとともに、フォーラムなどのイベントの開催を通じて企業と進出を希望する企業とのマッチングを推進するほか、市町村による自発的な企業誘致に繋げるため、銀行等の企業情報を有する機関等と市町村とのネットワークを構築する。	6,000千円	6,000千円
		5,969千円	

2 創業等への意欲的な取組の促進

(3) 成長産業への参入支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H30	R元	R2	R3	R4
A	医療機器等の共同開発件数（累計）	目標値	46件	56件	66件	75件	85件
		実績値	46件	56件	65件	75件	
B	ちばメディカルネットワーク登録会員数	目標値	310社	330社	350社	370社	380件
		実績値	317社	345社	357社	366件	
(課題と今後の対応) 【R3→R4】 A)引き続き、ニーズの掘り起こしを行うとともにものづくり企業とのマッチングに取り組む。 B)増加件数が伸び悩んできているため、ウェブセミナー等を通じた積極的な広報を行い、新規企業の掘り起こしに努める。							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<「ちば健康・医療ものづくり産業支援推進会議」の運営> 県や支援機関による「ちば健康・医療ものづくり産業支援推進会議」を運営して各種事業の企画・検討を行う。 ・ちば健康医療ものづくり産業支援推進会議 開催予定回数3回	493千円	370千円
		13千円	
2	<「ちばメディカルネットワーク」の運営> 健康・医療ものづくり産業に進出している、又は参入意欲を持つ中小企業を対象に、必要な情報を提供するためのネットワークを設置・運営するとともに、メルマガ配信等を行う。 ・ネットワーク登録会員数（R4目標）：380社 ・メルマガ配信予定回数：12回	500千円	500千円
		500千円	
3	<医療機器等開発・事業化支援事業> マッチング、製品開発、販路開拓に関する専門人材「メディカルコンシェルジュ」を配置するとともに、企業の製品開発や販路開拓に資するセミナーを実施する。また、臨床研究中核病院である国立がん研究センター東病院及び千葉大学医学部附属病院内に連携拠点を設け、同拠点に医療現場に精通した専門人材「コーディネーター」をそれぞれ1名（計2名）配置し、医療機関との連携を強化する。 ・メディカルコンシェルジュ配置予定数：2名 ・コーディネーター配置予定数：2名 ・共同開発予定件数（年間目標）：10件	36,670千円	36,880千円
		30,744千円	

2 創業等への意欲的な取組の促進

(4) 経営革新の促進

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H30	R元	R2	R3	R4
A	経営革新計画承認件数	目標値	80件	78件	76件	76件	79件
		実績値	76件	53件	110件	70件	/
B	IoT等の活用に向けたセミナー等の開催件数（累計）	目標値	8件	25件	39件	50件	58件
		実績値	12件	31件	39件	50件	/
<p>(課題と今後の対応) 【R3→R4】</p> <p>A)各種支援機関などと連携し、経営革新計画の周知を徹底する。</p> <p>B)IoTやAIなどデジタル技術についての知識や利活用法の普及啓発については、依然周知が必要である。</p> <p>また、デジタル技術の導入、継続的な活用促進には、基礎的なITの知識が必要であり、中小企業においてはそのようなIT人材が不足している。</p> <p>なお、各企業が抱える課題は企業ごとに異なり、人材のレベル感も異なるため、レベルに応じた難易度別の研修が必要である。</p>							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<p><経営革新優秀企業表彰制度、経営革新事例集の作成></p> <p>中小企業が新たな製品の開発や商品の提供など、経営の革新に果敢に挑戦する取組を促進することを目的に、経営革新を通じて他の模範となる実績を達成した優秀な企業を表彰する。</p> <p>経営革新制度の周知・普及を図るため、毎年「経営革新計画承認企業事例集」を作成する。</p>	935千円	935千円
		704千円	/
2	<p><経営革新セミナーの開催>【再掲】</p> <p>商工会・商工会議所等で実施されるセミナー等に職員を派遣し、経営革新制度の概要や承認取得企業の事例紹介等を行う。</p>	192千円	227千円
		192千円	/
3	<p><金融機関と連携した普及事業></p> <p>中小企業団体中央会や産業振興センター等の支援機関と連携し普及に努めるとともに、金融機関の法人担当者へも制度の説明や情報交換を行う。</p>	予算なし	予算なし
		—	/

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
4	<支援機関と連携した普及事業> 中小企業団体中央会や産業振興センター等の支援機関と連携し普及に努める。	予算なし	予算なし
		—	
5	<支援機関と連携した支援> 経営環境が大きく変化する時代にあって、新たな取組みに果敢にチャレンジする経営革新計画の承認企業に対しては、承認後1年以上2年未満の企業にフォローアップ調査を実施し、承認計画への取組状況や要望等の把握に努める。	予算なし	予算なし
		—	
6	<中小企業経営革新計画フォローアップ事業> 経営環境が大きく変化する時代にあって、新たな取組みに果敢にチャレンジする経営革新計画の承認企業に対しては、承認後1年以上2年未満の企業にフォローアップ調査を実施し、承認計画への取組状況や要望等の把握に努める。	予算なし	予算なし
		—	
7	<指導員研修等への講師派遣> 商工会議所・商工会の経営指導員が中小企業の経営革新計画づくりを適切に指導できるよう、指導員研修等を行う。	予算なし	予算なし
		—	
8	<経営革新等普及促進事業>【再掲】 県内中小企業の経営革新を促進するため、「経営革新優秀企業表彰」「経営革新企業交流会」や、産業振興センターによる経営革新セミナーの開催などにより、制度の普及・啓発に努めている。	935千円	935千円
		704千円	
9	<中小企業デジタル技術活用支援事業> IoT・AI等の活用による県内中小企業の技術の高度化や生産性向上を図るため、千葉県スマート化推進会議の開催を通じた各種事業の企画・検討、セミナー・実習による普及啓発、相談窓口の設置や人材育成のための研修等を行う。 ・千葉県スマート化推進会議 : 3回開催 ・IoT・AI等導入事例セミナー : 1回開催 ・体験型IoT・AI実習講座 : 4回開催 ・デジタル技術活用実践研修の開催:回数未定	15,300千円	25,000千円
		14,611千円	

2 創業等への意欲的な取組の促進

(5) 地域資源を活用した新商品開発などの事業活動の促進

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名	指標	H30	R元	R2	R3	R4
A) マッチングイベント及び地域連携コーディネーター等によるマッチング件数【再掲】	目標値	930件	900件	900件	150件	150件
	実績値	842件	897件	771件	152件	
<p>(課題と今後の対応) 【R3→R4】</p> <p>A) マッチングによる商品開発・改良を促すためのイベントの開催及び地域連携コーディネーターの配置等により、マッチング支援をしていく。令和3年度に支援を実施した事業者に対しても、継続して支援する。</p> <p>※R3年度から新規事業となったため指標の再設定を行った。</p>						

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<p><ちばのキラリ商品支援事業>【再掲】</p> <p>県産農林水産物などの地域資源を活用した商品（ちばのキラリ商品）の開発や販売展開を支援するため、農林漁業者等の商品開発のアイデアと県内中小企業の生産・加工技術等をマッチングするとともに、消費者ニーズを捉えた商品改良につなげるためテストマーケティング等を行う。</p>	33,500千円	35,000千円
		30,323千円	

2 創業等への意欲的な取組の促進

(6) 海外展開への支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H30	R元	R2	R3	R4
A	海外販路拡大に係る支援件数	目標値	15件	17件	18件	18件	14件
		実績値	18件	9件	14件	14件	
B	海外ビジネスセミナーの参加人数	目標値	1,000人	1,000人	892人	1,000人	1,000人
		実績値	894人	1,033人	1,367人	1,297人	
(課題と今後の対応) 【R3→R4】 A)引き続き、企業ニーズに対応した適切な支援を行う。 B)引き続き、関係機関への周知依頼や参加者アンケートの結果を改善につなげる等して参加者増に努める。							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	< 海外展開支援事業 (海外展示商談会出展支援、国際展示商談会 (国内) 出展支援) > 海外見本市等への千葉県ブースの出展や、国内で開催される国際展示商談会への出展支援を行う。	15,765千円	16,339千円
		13,843千円	
2	< 中小企業海外販路開拓支援事業の一部 > 国際取引等に通じた専門家による実務支援を実施する。	7,588千円	7,639千円
		6,309千円	
3	< 中小企業海外販路拡大支援事業、日本貿易振興機構千葉貿易情報センター支援事業 > 日本貿易振興機構 (ジェトロ) 千葉貿易情報センターと連携して貿易実務講座や国別、分野別等各種セミナー等を実施する。	26,621千円	27,064千円
		25,342千円	

3 産学官連携・企業間連携の促進と技術開発力の強化

(1) 産学官連携・企業間連携の促進

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H30	R元	R2	R3	R4
A	産学官等の連携に関する相談等支援件数	目標値	660件	660件	650件	650件	650件
		実績値	643件	594件	464件	710件	
B	新商品開発等に関する競争資金等の獲得件数	目標値	30件	30件	30件	30件	27件
		実績値	23件	28件	36件	27件	
C	ちば新事業創出ネットワークの参加団体数	目標値	680件	690件	690件	700件	708件
		実績値	688件	688件	698件	705件	

(課題と今後の対応) 【R3→R4】

- A)新型コロナウイルス感染症の影響等もある中で、国や県の施策等を有効に活用できるよう、企業からの相談に対応する。
- B)新型コロナウイルス感染症の影響等により企業の経営状況にも影響がある中、新商品開発等の前向きな取組に対して、効果的な競争資金の獲得を支援する。
- C)成長が望まれる技術情報の発信等を行うことにより、ネットワーク間の交流を図るとともに、新たな企業の参画を促す。

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<新事業新産業創出支援事業(新事業・新産業創出支援事業)> コーディネーターを5名配置し、企業ニーズ・研究シーズのマッチング、競争的研究開発資金の獲得支援、共同プロジェクトの進捗管理、研究成果の事業化までを一貫支援する。	28,132千円	28,113千円
		27,400千円	
2	<新事業新産業創出支援事業(新事業・新産業創出支援事業)> 既存の業種や産業分野にとらわれない産学官交流・産産交流の機会を提供するとともに、共同研究や製品開発に向けたコーディネート活動を実施する。	1,995千円	2,014千円
		1,548千円	

3 産学官連携・企業間連携の促進と技術開発力の強化

(2) 技術力の向上と研究開発型企業の支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H30	R元	R2	R3	R4
A	県産業支援技術研究所等による中小企業等への技術相談・支援件数	目標値	1,400件	1,400件	1,450件	1,450件	1,550件
		実績値	1,441件	1,533件	1,509件	1,436件	
B	千葉ものづくり認定製品認定件数（累計）	目標値	150件	165件	171件	178件	186件
		実績値	159件	165件	172件	180件	
<p>(課題と今後の対応) 【R3→R4】</p> <p>A)千葉県ホームページの他、技術セミナー等の機会を活用して、県内中小企業に周知する。</p> <p>B)優れた製品開発する企業の発掘に努めるとともに、認定した企業への継続的な販路開拓支援を行っていく。</p>							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<p><産業支援技術研究所、東葛テクノプラザにおける各種支援></p> <p>「産業支援技術研究所」及び「東葛テクノプラザ」において、中小企業の技術開発力向上、ベンチャー企業の創出・育成、産学官連携による新産業の創出等を目指し、依頼試験、機器設備使用、技術相談、研究開発、技術情報の提供、人材育成等の支援を行う。</p>	438,757千円	455,186千円
		371,589千円	
2	<p><「千葉ものづくり認定製品」の認定及び情報発信></p> <p>中小企業が製造する優れた製品や独創的な製品を「千葉ものづくり認定製品」として認定する。また、認定製品は県のホームページやリーフレットにより広く紹介する。</p> <p>県内中小企業の優れた技術や製品の紹介・情報発信とB to Bによるマッチングを目的として、展示会へ出展する。</p>	1,185千円	6,960千円
		791千円	

3 産学官連携・企業間連携の促進と技術開発力の強化

(3) 知的財産の保護及び活用

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H30	R元	R2	R3	R4
A	知的財産の相談等支援件数	目標値	1,485件	1,500件	1,500件	1,500件	1,500件
		実績値	1,694件	1,672件	1,605件	2,141件	
(課題と今後の対応) 【R3→R4】 A)引き続き産振センターや国の知財相談窓口事業等と連携し、知的財産に係る相談に対応する。							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度		R4年度	
		予算額		予算額	
		決算額		決算額	
1	<新事業・新産業創出支援事業（中小企業知財活用支援事業）※ 技術調査アドバイス等> 知財に関する専門人材を配置し相談に対応することにより、自 社技術の保護・活用や大学等の知財を活用した新製品開発等をを 促進する。 また、知財の普及啓発等を図るため、セミナーを開催する。	2,140千円		2,140千円	
		2,056千円			
2	<新事業・新産業創出支援事業（中小企業知財活用支援事業）※ 専門家相談会> 国や千葉県発明協会等と連携し、県内11か所で相談会を実施す る。	252千円		252千円	
		135千円			

4 経営基盤の強化の促進

(1) 円滑な資金調達への支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H30	R元	R2	R3	R4
A) 県制度融資の融資枠		目標値		5,700億円	5,700億円	13,200億円	12,000億円
		実績値	5,700億円	5,700億円	11,400億円	13,200億円	

(課題と今後の対応) 【R3→R4】

A)多くの中小企業者に利用していただくため、より利用しやすい制度の見直しと周知を図っていく。

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度		R4年度	
		予算額		予算額	
		決算額		決算額	
1	< 中小企業振興資金 > 中小企業の経営基盤の安定に必要な資金を円滑に提供するため、金融機関等と協力して、県内の中小企業に対し、通常の融資より低利で借りられる融資を行う。	440,000,000千円		400,000,000千円	
		233,000,000千円			

4 経営基盤の強化の促進

(2) 販路開拓の促進

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H30	R元	R2	R3	R4
A	受注取引の紹介斡旋件数	目標値	765件	777件	600件	450件	400件
		実績値	556件	482件	409件	412件	
B	販路に関する相談件数	目標値	240件	240件	240件	240件	240件
		実績値	243件	268件	270件	277件	
<p>(課題と今後の対応) 【R2→R3】</p> <p>A)新型コロナウイルス感染症拡大等の影響の中、下請中小企業が競争力を維持し、販路を確保・拡大していくことが難しいといった課題を抱えている。引き続き、産振センターと連携し、下請中小企業ごとの個別の状況やニーズに応じた相談指導を行い、下請取引の機会を拡大していく。</p> <p>B)引き続き、産振センターと連携し、販路開拓に向けた相談に対応する。</p>							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<p><下請取引振興事業></p> <p>下請中小企業の受注量の確保や取引拡大を図るため、千葉県産業振興センターを通じて、県内外の大手企業に対する発注案件の開拓、下請取引斡旋支援システムの活用による効果的な取引斡旋、商談会等を開催する。</p>	57,387千円	59,046千円
		54,966千円	
2	<p><専門家による相談等の実施></p> <p>販路開拓に係る相談に応じ、アドバイスや支援策の紹介等を行う他、動画等を作成するための講座を開設する。</p>	8,500千円	9,160千円
		8,301千円	

4 経営基盤の強化の促進

(3) 生産性の向上への支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名	指標	H30	R元	R2	R3	R4
A チャレンジ企業支援センターが行う専門家派遣の企業数	目標値	75社	71社	60社	60社	59社
	実績値	51社	64社	63社	41社	
(課題と今後の対応) 【R3→R4】 A)引き続きチャレンジ企業支援センターと連携し、専門家派遣などの支援メニューの周知を徹底し、専門家派遣を行う。						

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<専門家の派遣(チャレンジ企業支援センター事業)> 経営の向上を目指す意欲がある中小企業者等に対し、当該企業が抱える様々な問題(経営、技術、人材、情報化等)の解決を図るため、チャレンジ企業支援センターに登録している民間の専門家を派遣し、経営診断・技術助言等を行う。また、新たな支援として、中小企業が中長期的な視点に立って業態転換等に取り組む場合に専門家による伴走型の支援を行う。	20,628千円 の一部	42,232千円 の一部
		13,824千円	

4 経営基盤の強化の促進

(4) 再生可能エネルギー等の活用促進

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名	指標	H30	R元	R2	R3	R4
市町村等に対する各種会議やセミナー等での新エネルギー関連施策の情報提供回数	目標値	13回	10回	10回	10回	10回
	実績値	10回	12回	10回	10回	
(課題と今後の対応) 【R3→R4】 A)引き続き、庁内関係課と連携しつつ、市町村等に対して効果的な情報提供を実施していく。						

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<相談対応による支援> 民間事業者の太陽光発電や風力発電等の導入に係るワンストップ窓口での相談対応や情報提供を行う。	予算なし	予算なし
		-	
2	<地域主導型新エネルギー活用プロジェクト支援事業> 企業、商工団体等が市町村と連携して行う再生可能エネルギー等の活用に向けた取組に対する支援を行う。	2,000千円	2,000千円
		658千円	

4 経営基盤の強化の促進

(5) 事業承継と事業再生への支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H30	R元	R2	R3	R4
A	千葉県事業引継ぎ支援センターによる相談件数【再掲】	目標値	200件	236件	294件	294件	331件
		実績値	307件	319件	343件	594件	
B	事業承継ネットワーク構築事業におけるアンケート件数【再掲】	目標値	1,700件	1,700件	5,534件	5,534件	7,047件
		実績値	3,543件	5805件	6,786件	6,575件	
(課題と今後の対応) 【R3→R4】 A)相談件数は増加傾向にあり、目標を達成した。引き続き相談窓口の周知を図る。 B)金融機関の協力により、目標を達成した。引き続き商工団体、金融機関、千葉県信用保証協会などと連携の上実施する。							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<「事業承継・引継ぎ支援センター」の活用>【再掲】 千葉商工会議所内に、専門家を配置し、相談・助言から、第三者への事業承継まで、総合的な支援を千葉県単独で行う「支援センター」を設置し、金融機関や中小企業支援機関等との連携により、事業の周知を図るとともに案件の掘り起こしを行う。	予算なし	予算なし
		—	
2	<「事業承継支援ネットワークちば」における支援体制の充実、事業承継支援助成金> <ちば中小企業次世代承継推進事業> 「事業承継支援ネットワークちば」において関係機関と連携して、事業承継アンケート及び課題等の整理シート等により掘り起こした事業承継支援ニーズを掘り起こし、支援体制の充実を図るとともに、事業承継に取り組む中小企業の計画策定や、M&A仲介料、後継者育成等の費用の一部を予算額を増額して助成する。	5,000千円 15,000千円	6,000千円 15,000千円
		3,114千円 12,931千円	

4 経営基盤の強化の促進

(6) リスクマネジメントへの支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H30	R元	R2	R3	R4
A	BCPセミナー受講者数	目標値	26人	34人	46人	46人	31人
		実績値	44人	61人	46人	16人	
<p>(課題と今後の対応) 【R3→R4】</p> <p>A)長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、目前の経営課題の対応に追われたため、セミナー等の参加を見送る企業がいたものと考えられる。</p> <p>引き続きチャレンジ企業支援センターと連携し、セミナーを周知する。</p>							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度		R4年度	
		予算額		予算額	
		決算額		決算額	
1	<p><セミナーの開催(チャレンジ企業支援センター事業)></p> <p>大規模地震や風水害、大震災等の緊急事態における事業継続、早期復旧のための取組であるBCP(事業継続計画)及び経営革新制度(中小企業新事業活動促進法)の理解と取組の促進を図るセミナーを開催する。</p>	192千円		227千円	
		192千円			

5 人材の確保及び育成の支援

(1) 中小企業の人材確保への支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H30	R元	R2	R3	R4
A	ジョブカフェちばを採用活動に利用した企業数	目標値	1,700社	1,390社	1,304社	1,132社	967社
		実績値	1,382社	1,215社	799社	886社	
B	プロフェッショナル人材の県内中小企業における正規雇用件数	目標値	15人	15人	65人	65人	65人
		実績値	68人	97人	61人	52人	
<p>(課題と今後の対応) 【R3→R4】</p> <p>A)訪問企業数に対する求人登録企業数が少ないことが課題である。今後の対応として、訪問企業へ求人登録やセミナー等サービスの利用促進を図る。また、企業向け定着・採用支援セミナーを企業のニーズに沿った内容で実施する。</p> <p>B)新型コロナウイルス感染症の影響により、各企業の人材ニーズが明確化していく中で、副業・兼業人材の需要の高まりがみられたが、他方、正規雇用の需要の高まりはそこまで見えず、正規雇用の成約件数が伸びなかった。</p> <p>令和4年度の正規雇用件数の目標達成のため、企業相談等により求人ニーズを把握するとともに、中小企業向けセミナーや大企業との交流会等を通じて企業の意識醸成を図る取組を実施していく。</p>							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<p><ジョブカフェちば事業></p> <p>若者と地元中小企業との雇用のミスマッチを解消し、中小企業の採用活動を支援するため、ジョブカフェちばにおいて採用ミスマッチ解消事業等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年求職者との交流イベント ・求人企業の開拓 ・企業向け採用、定着支援セミナー ・WEBによる模擬面接 	142,754千円	146,956千円
		139,204千円	
2	<p><プロフェッショナル人材戦略拠点事業></p> <p>潜在成長力のある地域企業の経営者に、新商品開発や新販路開拓などの「攻めの経営」への転身を促し、その成長戦略の実現のために必要となるプロフェッショナル人材の採用や副業・兼業を含めた多様な形態での人材マッチングを支援する「プロフェッショナル人材戦略拠点」を運営する。</p>	41,295千円	42,498千円
		40,660千円	

5 人材の確保及び育成の支援

(2) 女性活躍など多様な人材活用の促進

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名	指標	H30	R元	R2	R3	R4
A 女性・中高年齢者の就労支援施設におけるセミナー及び交流イベントの開催件数	目標値	40件	40件	40件	40件	40件
	実績値	55件	55件	56件	58件	
B 女性の再就職支援プログラム参加者数	目標値	50人	50人	100人	100人	100人
	実績値	167人	158人	174人	130人	
C 障害者雇用率達成企業の割合	目標値	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
	実績値	49.40%	51.60%	51.90%	49.00%	
<p>(課題と今後の対応) 【R3→R4】</p> <p>A)引き続き求職者（主に中高年齢者や子育て中の女性）に対する再就職及び定着支援を実施し、就業支援の充実を図る必要がある。</p> <p>B)引き続き主に正社員での再就職を希望する女性求職者を対象に、座学研修と職場見学など個人のニーズや能力に応じた再就職支援プログラムを実施し、女性の再就職を支援する必要がある。</p> <p>C)令和3年3月に法定雇用率が2.3%に引き上げられて対象事業所が拡大したことから、前年度を下回った。引き続き、千葉労働局等の関係機関と連携しながら企業の障害者雇用促進を支援していく。</p>						

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<p><千葉県ジョブサポートセンター事業></p> <p>求職者（主に中高年齢者や子育て中の女性）に対する再就職及び定着支援を実施し、就業支援の充実を図る。</p> <p>新たに、働き手となるシニアの掘り起こしや県内企業とのマッチング支援等を実施する。</p>	69,247千円	82,549千円
		69,247千円	
2	<p><千葉県ジョブサポートセンター事業（女性チャレンジ応援事業）></p> <p>女性チャレンジ応援事業として、主に正社員での再就職を希望する女性求職者を対象に、個人のニーズや能力に応じた再就職支援プログラムを実施し、女性の再就職を支援する。</p>	上記69,247千円 に含む	上記82,549千円 に含む
		上記69,247千円 に含む	

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
3	<障害者就業支援キャリアセンター事業> 特例子会社設置検討企業や法定雇用率未達成企業など、障害者雇用に関する多様な企業ニーズに対応した相談・訪問による支援を行うほか、障害のある人を対象とした職業準備訓練や就労に関する相談支援を行う。	32,785千円	32,177千円
		32,713千円	
4	<企業支援員（障害者雇用アドバイザー）事業> 企業支援員を県内16か所の障害者就業・生活支援センターに各1名配置し、障害者の職域開拓や、企業に対する障害特性に応じた就業環境づくり等へのアドバイスなどを行う。	45,495千円	50,700千円
		41,574千円	
5	<障害者雇用促進のための「意識改革」事業> 企業向けに障害者就労現場の見学相談会を開催するほか、障害者向けに、企業で働く障害者の体験発表や意見交換等の交流会を実施する。	3,317千円	3,317千円
		3,317千円	
	<障害者雇用促進のための「意識改革」事業> 企業向けに障害者を雇用するまでの流れや各種助成制度等を紹介するリーフレットを作成し、未達成企業等へ配布するほか、企業支援員が圏域内の障害者雇用企業を開拓する機会を活用し配布する。	400千円	704千円
		92千円	
6	<障害者雇用サポート事業> 障害者に対して就職に向けた基礎訓練と職場実習を組み合わせた研修を実施するとともに、障害者就労アドバイザーが、雇用を検討している企業に出向き、職場実習受入れのための業務選定や、社内勉強会の開催など職場環境整備の支援を行う。	35,975千円	35,981千円
		35,594千円	

5 人材の確保及び育成の支援

(3) 中小企業のニーズに応じた人材育成への支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H30	R元	R2	R3	R4
A	県立高等技術専門学校における在職者訓練（ちば企業人スキルアップセミナー）事業の受講率	目標値	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
		実績値	72.4%	62.5%	62.8%	71.5%	
B	離職者再就職訓練事業における就職率	目標値	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
		実績値	75.3%	72.6%	70.7%	71.3%	
<p>（課題と今後の対応）【R3→R4】</p> <p>A)受講率はやや改善したが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり低調であった。 令和4年度より、受講率向上のため対象者を「職業に必要な技能や知識を習得しようとする方」とし、従前より幅広いニーズに対応させた(従前は、在職者及び求職者)。 引き続き、広報内容の見直しを進めつつ、企業ニーズに合ったコース設定に努める。</p> <p>B)新型コロナウイルス感染症拡大等による雇用情勢の悪化により、就職率が低下傾向にある。訓練ニーズを把握し就職に有効な訓練コースの設定や、ハローワーク等における就職支援の強化が課題。 労働局等関係機関と連携し実績が低調なコースの検証改善の実施や、就職活動日を設定し訓練期間中からハローワークでの就職支援の徹底を図る。</p>							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<ちば企業人スキルアップセミナー事業> 職業に必要な技能や知識を習得しようとする方を対象に、更なる知識や技能のスキルアップと資格取得をサポートするため、短期間のセミナーを実施する。	6,105千円	6,118千円
		3,912千円	
2	<離職者等再就職訓練事業> R4年度計画としては243コースを実施予定である。 国家資格の取得等を目指す長期高度人材育成コースとして、介護福祉士6コース、保育士7コース、美容師1コースを設定した。	1,218,545千円	1,292,973千円
		742,164千円	

5 人材の確保及び育成の支援

(4) 働き方改革など働きやすい環境の整備

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H30	R元	R2	R3	R4
A	「働き方改革」アドバイザーを活用して働き方改革に取り組んだ企業数	目標値	20社	20社	25社	20社	15社
		実績値	22社	23社	25社	20社	
B	「社員いきいき！元気な会社」宣言企業登録事業所数	目標値	780社	872社	927社	930社	950社
		実績値	822社	889社	908社	930社	
(課題と今後の対応) 【R3→R4】 A)引き続き、働き方改革の推進に取り組む県内中小企業等を対象にアドバイザー派遣等の支援を行う。 B)引き続き、誰もが働きやすい職場環境づくりや仕事と生活の両立支援等に取り組む県内企業の募集・公表を行い、企業の自主的な取組を促進していく。							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度		R4年度	
		予算額		予算額	
		決算額		決算額	
1	<ちばの「新しい働き方」推進事業> 企業向けセミナーの開催やアドバイザーの派遣等を通じて、働き方改革の推進やテレワークに取り組む県内中小企業等を支援するとともに、新たに、コワーキングスペースを設置する市町村等に対して助成等を行う。	40,000千円		50,000千円	
		39,700千円			

6 地域づくり・まちづくりと連携した中小企業の活性化

(1) 地域と連携した商店街活性化

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H30	R元	R2	R3	R4
A	地域商業活性化コーディネーター派遣回数	目標値	20回	20回	25回	25回	25回
		実績値	30回	39回	23回	34回	
B	商店街若手リーダーの養成数（累計）	目標値	341人	357人	372人	384人	401人
		実績値	343人	358人	370人	388人	
(課題と今後の対応) 【R3→R4】 A)商業団体などに制度の周知を図り、積極的な活用を促進する。 B)引き続き本事業の周知に努め、商店街の若手リーダーの養成を図っていく。							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<千葉県地域商業活性化事業（地域商業活性化コーディネーター派遣事業）> コーディネーター派遣目標を25回として実施する。	1,776千円	3,500千円
		1,156千円	
2	<商店街若手リーダー養成事業（ふさの国商い未来塾）> 修了者の目標数を14人として実施する。	1,477千円	1,477千円
		1,261千円	
3	<商店街若手リーダー養成事業（ふさの国商い倶楽部）> 累計修了者数を401人とし、交流や情報交換を推進する。	223千円	223千円
		155千円	

6 地域づくり・まちづくりと連携した中小企業の活性化

(2) 中小企業と地域住民・大学等の教育機関との交流・連携の促進

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H30	R元	R2	R3	R4
A	職場体験等情報提供企業数	目標値	100社	120社	120社	120社	120社
		実績値	115社	116社	120社	117社	
(課題と今後の対応) 【R3→R4】 A)引き続き、職場体験等の受入が可能な県内企業の情報を掲載したWebサイトを周知し、企業情報を充実させる。							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<学校教育と連携した中小企業・小規模企業魅力発信事業> 中学・高校生の職場体験などを通じて中小企業・小規模企業の魅力を発信するため、職場体験等の受入れ企業の情報を掲載したWebサイトについて幅広く周知するとともに、掲載企業の新規掘り起こしを行う。	予算なし	予算なし
		-	

6 地域づくり・まちづくりと連携した中小企業の活性化

(3) 農商工連携等による地域産業の振興

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名	指標	H30	R元	R2	R3	R4
A マッチングイベント及び地域連携コーディネーター等によるマッチング件数	目標値	930件	900件	900件	150件	150件
	実績値	842件	897件	771件	152件	
B 農商工連携及び地域資源活用による新商品開発助成事業の交付決定件数（累計）	目標値	93件	107件	106件	113件	119件
	実績値	97件	101件	107件	113件	
<p>（課題と今後の対応）【R3→R4】</p> <p>A) マッチングによる商品開発・改良を促すためのイベントの開催及び地域連携コーディネーターの配置等により、マッチング支援をしていく。令和3年度に支援を実施した事業者に対しても、継続して支援する。</p> <p>※R3年度から新規事業となったため指標の再設定を行った。</p> <p>B) 引き続き、中小企業者等又は中小企業者等と農林漁業者の連携体による地域資源を活用した新商品・新サービスの開発を支援する。</p> <p>※R元年度までの件数は農商工連携のみ、R2年度から助成事業の仕組みが変わったことにより総合計画の指標名も変更し、地域資源活用を含んだ実績としている。</p>						

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<ちばのキラリ商品支援事業> 県産農林水産物などの地域資源を活用した商品（ちばのキラリ商品）の開発や販売展開を支援するため、農林漁業者等の商品開発のアイデアと県内中小企業の生産・加工技術等をマッチングするとともに、消費者ニーズを捉えた商品改良につなげるためテストマーケティング等を行う。	33,500千円	35,000千円
		30,323千円	
2	<中小企業高付加価値化支援事業（地域資源の活用事業助成事業費補助）> 中小企業者等又は中小企業者等と農林漁業者の連携体による地域資源を活用した新商品・新サービスの開発を支援する。	5,500千円	4,500千円
		2,637千円	

6 地域づくり・まちづくりと連携した中小企業の活性化

(4) おもてなし力の向上による観光振興を通じた地域の活性化

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H30	R元	R2	R3	R4
A	海外観光ゲストへのおもてなし力向上研修受講者数	目標値	329人	342人			
		実績値	194人	356人			
B	オール千葉おもてなし推進事業におけるイベント参加者数	目標値	500人	1,800人	750人	2,000人	10,000人
		実績値	1,578人	8,509人	【動画視聴者数】 32,594人	14,664人	
<p>(課題と今後の対応) 【R3→R4】</p> <p>A)実施事業なし</p> <p>B)東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に、「オール千葉」でおもてなしの機運を高めていくことを目的として、各種PR活動を行ってきた。</p> <p>今後は、県内各地が持つ観光地域力を発信し、本県観光への訴求を幅広く図るため、県内外の方々から注目が集まる機会(イベント等)を捉え、千葉に縁のある著名人等を活用したPR活動を実施する。</p> <p>令和3年度においては、感染状況に十分注意し、物資の手渡しを控える等しつつPRを行った。</p> <p>令和4年度においても同様に、「密」にならないように出展方法を検討する等感染状況に配慮し、工夫しながら事業実施する。</p>							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<p><観光地域力向上事業「観光人材「おもてなしの心」向上研修」></p> <p>東京オリンピック・パラリンピックを契機に醸成した「本県ならではのおもてなし」をレガシーとし、本県の観光地域力の礎として定着を図るとともに、観光地域力の中心となる観光人材のレベル向上を図る機会を提供し、地域における観光客受入体制の向上を促していく。</p>	予算なし	2,500千円
		-	
2	<p><観光地域力発信事業「県内イベント等での「観光地域力」PR」></p> <p>県内各地が持つ観光地域力を発信し、本県観光への訴求を幅広く図るため、県内外の方々から注目が集まる機会(イベント等)を捉え、千葉に縁のある著名人等を活用したPR活動を実施する。</p>	14,635千円	4,500千円
		14,635千円	

7 相談支援体制と情報発信の充実、官公需施策の推進

(1) 関係機関の連携による相談支援

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H30	R元	R2	R3	R4
A	商工会・商工会議所における相談件数【再掲】	目標値	115,200件	110,000件	110,000件	110,000件	未設定
		実績値	110,646件	115,572件	123,380件	未判明	
B	チャレンジ企業支援センターにおける相談件数	目標値	2,400件	2,500件	2,900件	2,900件	3,700件
		実績値	3,489件	3,477件	4,361件	2,310件	
C	よろず支援拠点における相談件数	目標値	6,000件	6,000件	6,800件	6,800件	8,098件
		実績値	6,786件	7,282件	11,806件	9,265件	
<p>(課題と今後の対応) 【R3→R4】</p> <p>A)小規模事業者支援法の改正により、商工会・商工会議所と市町村及び都道府県との連携強化など、小規模事業者に寄り添った伴走型支援が求められている。</p> <p>B)引き続きチャレンジ企業支援センターと連携し、窓口相談や専門家派遣などの支援メニューの周知徹底する。</p> <p>C)引き続きチャレンジ企業支援センターと連携して相談に対応していく。</p>							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<p><小規模事業経営支援事業費等補助金>【再掲】</p> <p>商工会、商工会議所において、「経営発達支援計画」を策定し、従来の税務、経理などの相談に加え、技術の向上、新たな事業開拓等に係る事業計画の策定・実施を企業に寄り添って支援する伴走型支援を行う。</p> <p>なお、令和4年度は、「経営発達支援計画」等の策定支援として、策定に係る費用を提案型事業で補助していく。</p>	2,279,578千円	2,267,636千円
		未確定	
2	<p><チャレンジ企業支援センター事業></p> <p>中小企業支援法に基づき、(公財)千葉県産業振興センターが実施する、県内中小企業者が抱える様々な経営課題(経営・金融・技術・IT相談等)の解決を「ワンストップ」で支援するための、各種相談事業や専門家派遣事業及び各種セミナーの開催事業等に対し補助する。また、新たな支援として、中小企業が中長期的な視点に立って業態転換等に取り組む場合に専門家による伴走型の支援を行う。</p>	336,064千円	416,679千円
		324,000千円	
3	<p><よろず支援拠点による総合支援></p> <p>中小企業者、小規模事業者の複雑・多様化する経営課題に対して、総合的・先進的のアドバイスを行い、売上拡大や経営改善を支援する。</p>	予算なし	予算なし
		—	

7 相談支援体制と情報発信の充実、官公需施策の推進

(2) 支援情報・中小企業の魅力等の情報発信の強化

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H30	R元	R2	R3	R4
A	職場体験等情報提供企業数【再掲】	目標値	100社	120社	120社	120社	120社
		実績値	115社	116社	120社	117社	
B	地域勉強会・円卓会議の開催件数	目標値	20回	17回	13回	13回	15回
		実績値	14回	13回	7回	26回	
(課題と今後の対応) 【R3→R4】 A)引き続き、職場体験等の受入が可能な県内企業の情報を掲載したWebサイトを周知し、企業情報を充実させる。 B)新型コロナウイルス感染症の県内の感染状況を踏まえながら、中小企業元気戦略の改定に向けて開催をしていく。							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<学校教育と連携した中小企業・小規模企業魅力発信事業>【再掲】 中学・高校生の職場体験などを通じて中小企業・小規模企業の魅力を発信するため、職場体験等の受入れ企業の情報を掲載したサイトについて幅広く周知するとともに、掲載企業の新規掘り起こしを行う。	予算なし	予算なし
		-	

7 相談支援体制と情報発信の充実、官公需施策の推進

(3) 官公需施策の推進

〔単年度ごとの指標と達成状況〕

指標名		指標	H30	R元	R2	R3	R4
A	県官公需契約金額に占める中小企業の割合	目標値	75.5%	76.2%	77.0%	77.0%	未設定
		実績値	77.8%	77.1%	77.4%	夏頃判明	
B	官公需適格組合との契約件数	目標値	54件	59件	59件	59件	未設定
		実績値	56件	52件	58件	夏頃判明	
<p>(課題と今後の対応) 【R2→R3】</p> <p>A)令和2年度は目標を達成したが、今後も更に官公需契約金額に占める中小企業の割合を高めるため、関係機関へ周知を図る。</p> <p>B)令和2年度は目標を達成しなかったため、関係機関への周知を徹底する。</p>							

〔主要事業の実施状況〕

No.	事業内容【R4年度】	R3年度	R4年度
		予算額	予算額
		決算額	決算額
1	<p><中小企業者の受注機会増加への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> 入札参加者に係る「地域要件」を適切に設定するとともに、県内中小企業の適切な評価と積極的な活用に努め、地域における事業者の受注機会の増大を図る。 技術力の正当な評価や、競争入札における同一等級格付け区分内の者による競争の確保等による中小企業者の受注機会の増大を図る。 県関係課、官公需関係出先機関などに「県の契約の方針」や官公需施策の概要、官公需適格組合の活用促進について普及啓発を行う。特に市町村の発注担当者に対して、各種会議などの機会を通じ、官公需施策の必要性等について普及啓発を行う。 	予算なし	予算なし
		-	